

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第42号—

令和3年2月22日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

伝統を受け継ぐ

早いもので今年度もあと残すところ1か月となりました。卒業式・修了式までの日数も三十日を切り、今年度のまとめに向けて生活面、学習面ともに指導に力が入る時期です。

さて、今年は東京オリンピックの年ですが、日本発祥のオリンピックの種目に柔道があります。「柔道の父」と呼ばれ、明治から昭和にかけて日本スポーツ界に大きな足跡を残した嘉納治五郎が、こんな言葉を残しています。

「伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承することを使う」

津吉小学校でもこの3月から、3年生が地域の山口さんのご指導の下、「ジャンガラ」の習得に取り組めます。「ジャンガラ」の伝承は、先人から伝わってきた太鼓や笛、踊り等の「技」だけでなく、長い歴史の中で育んでこられた多くの人の思いや「心」も受け継ぐことが大切であると考えています。そこには、ふるさとの伝統を守ろうとする気持ちだけではなく、ふるさとを愛し、誇りに思う気持ちや、ふるさとの発展を願う気持ちも込められているはずです。3年生の子供たちには、その重みをしっかり心に刻み、「ジャンガラ」の伝統を受け継いでほしいと願っています。



中学生ボランティア

2月9日(火)に南部中学校1・2年生11名が、6年生の学習指導のボランティアに来てくれました。1時間の短い時間でしたが、互いに緊張した中で真剣に学習する姿が見られました。4月からは南部中の同じ学び舎で学習することになります。中学生にとってもよい体験の機会となりました。

ボランティア 標語コンクール

今年度も「ボランティア標語」の募集があり、津吉小からは116点の標語を応募しました。(平戸市全体で応募総数1849点) 審査の結果、下記の9名の作品が入賞を果たしました。おめでとう！！

賞	作品(標語)	氏名	学年
ボランティア協議会会長賞	ぼくの手も きっとだれかの 役に立つ	浜本鉄舟	6年
優秀賞	ボランティア こころの花を さかせよう	嵯本れんか	1年
	思いやり みんなでもてば 大きなわ	國竹鴨李	1年
	あいさつは 笑顔をつなぐ ボランティア	神田蒼空	5年
奨励賞	みんなの勇気で つながる絆 ボランティア	江口心奏	1年
	助け合い 心をつなぐ 大きな力	里崎秀哉	3年
	ボランティア 心をつなぐ 地域の行事	吉岡和真	4年
特選	ボランティア みんなの笑顔 あつめよう	島田璃子	4年
	ボランティア 私の思い あなたに届け	江口瑠南	6年

